



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 ラサ商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 3023

URL <https://www.rasaco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青井 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 桜木 和陽 (TEL) 03(3668)8231

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,577	14.1	395	35.9	441	27.8	263	26.5
2026年3月期第1四半期	5,766	2.7	290	36.9	345	17.1	208	△3.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 450百万円(52.3%) 2026年3月期第1四半期 295百万円(8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	24.97	—
2026年3月期第1四半期	19.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	31,496	23,385	74.2
2026年3月期	32,952	23,433	71.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 23,385百万円 2026年3月期 23,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	36.00	—	44.00	80.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	△1.2	500	△46.4	600	△41.0	400	△46.1	37.95
通期	28,500	1.1	2,500	△15.5	2,750	△14.8	2,000	△15.9	189.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	11,383,838株	2026年3月期	11,383,838株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	843,771株	2026年3月期	843,747株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	10,540,073株	2026年3月期1Q	10,740,091株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9
3. 参考情報	10
個別業績の概要	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げの広がりや堅調な雇用・所得環境を背景に、個人消費が持ち直しつつあるほか、生成AI関連投資やデジタル分野を中心とした設備投資が底堅く推移するなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化等を背景とした原油・資源価格の上昇や急激な円安の進行などにより、先行き不透明感が高まる状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2026年3月期から2028年3月期までの3か年を計画期間とする新中期経営計画「“Step Forward” Rasa 2027～成長のステージへ～」を策定し、前中期経営計画で強化を図ってきた経営基盤のもと、社会インフラを支える付加価値創出企業として、既存事業の安定的成長にとどまらず、新たなステージへの一步を踏み出し、さらなる企業価値の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に化成品関連及び産機・建機関連が増収となったことを受けて65億77百万円となり、前年同四半期と比べ8億10百万円(14.1%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は3億95百万円となり、前年同四半期と比べ1億4百万円(35.9%)の増益となりました。経常利益は4億41百万円となり、前年同四半期と比べ96百万円(27.8%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億63百万円となり、前年同四半期と比べ55百万円(26.5%)の増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、当社取り扱い原料の一部において中国の輸出管理強化による納期長期化の影響を受け、関連部門の売上高は13億79百万円となり、前年同四半期と比べ48百万円(△3.4%)の減収となりました。また、売上減収から、セグメント利益は34百万円となり、前年同四半期と比べ15百万円(△31.2%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間企業向け主力ポンプの販売が減少したものの、リサイクル設備の工事案件や国内外でのシールド掘進機の販売及びレンタルも好調に推移し、関連部門の売上高は20億50百万円となり、前年同四半期と比べ2億96百万円(16.9%)の増収となりました。一方、原価率が高い大型案件によりセグメント利益は79百万円となり、前年同四半期と比べ41百万円(△34.1%)の減益となりました。

環境設備関連では、民間企業及び電力企業向けピストンポンプの大型整備案件の減少に加え、海外輸入商品の特殊ポンプにおいても民間企業向け大型案件が減少したため、関連部門の売上高は3億26百万円となり、前年同四半期と比べ1億5百万円(△24.4%)の減収となりました。一方、販売管理費の減少からセグメント利益は63百万円となり、前年同四半期と比べ16百万円(34.3%)の増益となりました。

化成品関連では、半導体向け電線分野の需要が回復したほか、取扱商品の市況上昇により関連部門の売上高は20億93百万円となり、前年同四半期と比べ4億51百万円(27.5%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は58百万円となり、前年同四半期と比べ27百万円(87.0%)の増益となりました。

プラント・設備工事関連では、大型工事の完工と定期修繕工事が順調に進捗したため、関連部門の売上高は6億63百万円となり、前年同四半期と比べ2億14百万円(47.7%)の増収となりました。また、売上増収により、セグメント利益は1億5百万円(前年同四半期は30百万円の損失)となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸ビルの満室維持とテナント賃料の見直しがあったため、関連部門の売上高は1億円となり、前年同四半期と比べ4百万円(4.5%)の増収となりました。また、賃貸収入は増加したものの、支払手数料や設備管理費が増加したことから、セグメント利益は53百万円となり、前年同四半期と比べ0百万円(1.0%)の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は314億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億56百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は173億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億39百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で2億46百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で9億97百万円の減少等があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は141億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で2億64百万円の増加があった一方で、保険積立金で1億42百万円の減少等があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は53億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億7百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金で5億円、未払法人税等で3億48百万円、賞与引当金で3億1百万円の減少等があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は27億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円の増加となりました。

これは主に、長期借入金で17百万円、繰延税金負債で80百万円の増加等があったことによるものです。

(純資産)

純資産は233億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円の減少となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益で2億63百万円の計上、その他有価証券評価差額金で1億76百万円の増加があった一方で、剰余金の配当で4億84百万円の減少等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月14日付の2026年3月期決算短信で公表いたしました2027年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,662	5,415
受取手形、売掛金及び契約資産	6,770	5,773
電子記録債権	2,365	2,355
商品及び製品	3,452	3,319
未成工事支出金	46	65
原材料及び貯蔵品	5	4
その他	609	438
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,911	17,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,479	4,480
減価償却累計額	△3,156	△3,180
建物及び構築物（純額）	1,322	1,299
機械装置及び運搬具	486	486
減価償却累計額	△456	△459
機械装置及び運搬具（純額）	29	27
土地	6,000	6,000
その他	1,653	1,656
減価償却累計額	△1,580	△1,589
その他（純額）	72	66
有形固定資産合計	7,425	7,394
無形固定資産		
ソフトウェア	30	26
その他	2	2
無形固定資産合計	33	28
投資その他の資産		
投資有価証券	4,975	5,239
退職給付に係る資産	10	7
保険積立金	870	727
その他	733	734
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	6,582	6,701
固定資産合計	14,041	14,124
資産合計	32,952	31,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,061	2,081
電子記録債務	1,148	936
工事未払金	258	183
短期借入金	800	300
1年内返済予定の長期借入金	379	167
未払法人税等	544	195
契約負債	413	453
賞与引当金	462	161
工事損失引当金	16	19
その他	768	847
流動負債合計	6,853	5,346
固定負債		
長期借入金	1,795	1,812
繰延税金負債	405	485
役員株式給付引当金	262	262
その他	202	204
固定負債合計	2,666	2,765
負債合計	9,519	8,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	19,783	19,562
自己株式	△1,016	△1,016
株主資本合計	22,688	22,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	727	903
繰延ヘッジ損益	17	14
その他の包括利益累計額合計	745	918
純資産合計	23,433	23,385
負債純資産合計	32,952	31,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,766	6,577
売上原価	4,401	5,079
売上総利益	1,365	1,498
販売費及び一般管理費	1,075	1,103
営業利益	290	395
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	23
持分法による投資利益	29	19
その他	13	14
営業外収益合計	65	57
営業外費用		
支払利息	9	8
その他	0	2
営業外費用合計	10	10
経常利益	345	441
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	345	441
法人税等	137	178
四半期純利益	208	263
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	208	263

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	208	263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	176
繰延ヘッジ損益	11	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	87	187
四半期包括利益	295	450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295	450
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	プラント ・設備 工事関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,264	1,458	431	1,559	447	—	5,162
アジア	156	164	—	50	—	—	372
その他	6	130	—	31	—	—	167
顧客との契約から 生じる収益	1,427	1,753	431	1,641	447	—	5,701
その他の収益	—	—	—	—	—	64	64
外部顧客への売上高	1,427	1,753	431	1,641	447	64	5,766
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1	30	32
計	1,427	1,753	431	1,641	449	95	5,799
セグメント利益 又は損失 (△)	50	121	47	31	△30	53	272

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	272
セグメント間取引消去	0
棚卸資産	17
四半期連結損益計算書の営業利益	290

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	プラント ・設備 工事関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,243	1,710	326	1,985	662	—	5,928
アジア	133	173	—	55	—	—	362
その他	2	165	—	52	—	—	220
顧客との契約から 生じる収益	1,379	2,050	326	2,093	662	—	6,511
その他の収益	—	—	—	—	—	66	66
外部顧客への売上高	1,379	2,050	326	2,093	662	66	6,577
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	0	34	34
計	1,379	2,050	326	2,093	663	100	6,612
セグメント利益	34	79	63	58	105	53	395

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	395
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	395

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	46百万円	41百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記情報(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

3. 参考情報

個別業績の概要

2027年3月期第1四半期の個別業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,849	11.3	235	△5.5	441	7.7	309	6.8
2026年3月期第1四半期	5,254	6.5	249	75.1	410	85.0	289	△74.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	29.09	—
2026年3月期第1四半期	26.72	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	22,932	18,068	78.8
2026年3月期	24,119	18,077	74.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 18,068百万円 2026年3月期 18,077百万円